

太陽誘電:2018年度「太陽の森」森林整備ボランティア活動を実施しました —森林整備を通じた地球温暖化防止・生物多様性保全活動—



2018年度「太陽の森」活動風景

太陽誘電株式会社(代表取締役社長:登坂 正一、本社:東京都中央区)は、地球温暖化防止・生物多様性保全活動として、毎年秋に「太陽の森」(群馬県高崎市中室田町)の森林整備ボランティア活動を実施しています。今年度は、11月10日(土)に実施しましたのでお知らせします。

太陽誘電は、持続可能な社会の実現を目指し、企業としての社会的責任を果たすためのさまざまな活動を推進しています。その一環として地球温暖化防止・生物多様性保全のため、2007年度より森林所有者および仲介役の群馬県と協定を結び、高崎市中室田町の森林を「太陽の森」と命名し、毎年秋に従業員有志とその家族が参加する森林整備ボランティア活動を続けています。この活動はSDGs(持続可能な開発目標)目標15、「陸の豊かさを守ろう/森林の持続可能な管理」にも貢献しています。

12年目となる今年度も、下草刈りや間伐作業などに加え、子供を対象とした木工教室も開催し、従業員や家族間の交流を図り心身ともにリフレッシュしました。

太陽誘電は、今後も森林整備ボランティア活動などの地球温暖化防止・生物多様性保全活動を継続していきます。

2018年度森林整備ボランティア活動内容は以下の通りです

- 日時: 2018年11月10日(土)
- 場所: 太陽の森(群馬県高崎市中室田町)
- 参加者: 太陽誘電グループ従業員およびその家族
- 活動内容: 下草刈りや間伐作業
子供を対象とした木工教室